

第37回 岡大サイエンスカフェ

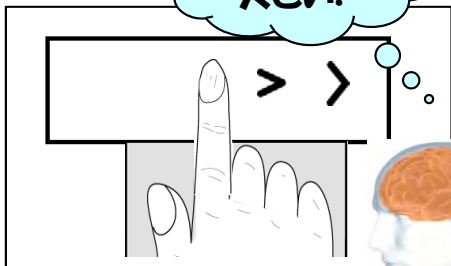
認知症の早期発見と 認知神経科学



講師 岡山大学大学院自然科学研究科(工) 教授 呉景龍



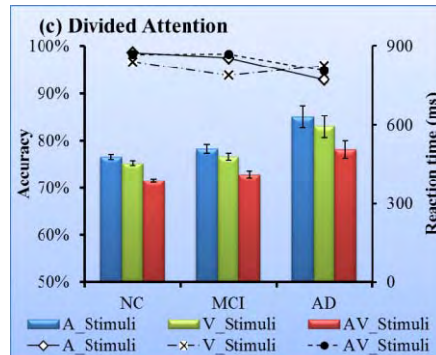
二番目が
大きい。



認知症は、記憶等の知的な機能に障害が起きた状態をいいます。認知症の早期発見は非常に難しく、「見えない障害」と言われています。現状では、まだ客観的な診断基準が確立されていません。演者らは視覚、聴覚および触覚の認知・注意特性の基礎研究を行い、その研究結果に基づいて、認知症の早期診断技術の確立を目指しています。そのため、認知実験と脳波(EEG/ERP)・機能的磁気共鳴画像(fMRI)を用いて認知神経科学に関する研究を行っています。当日では、指先触覚による角度弁別(2つの異なる角度を区別する)と視聴覚注意機能の簡易検査による認知症の早期発見に関連する研究成果を紹介します。

視聴覚注意機能の簡易検査による認知症早期発見の測定結果

指先触覚による認知症早期発見の測定風景



参加者募集

- ◆開催日時
平成25年6月18日(火)
午後6:00~7:30
- ◆開催場所
岡山大学創立五十周年記念館2階
- ◆申込先
岡山大学研究推進産学官連携機構
TEL :086-251-7112 FAX :086-251-8467
E-mail: s-renkei@adm.okayama-u.ac.jp
http://www.okayama-u.net/renkei/contents/04_04.html
氏名・年齢・連絡先・車で来られる方は明記ください
※できるだけ公共交通機関をご利用ください
- ◆締め切り
平成25年6月13日(木) 午後5時
- ◆参加費
無料(飲みもの含む)
- ◆問い合わせ先
研究推進産学官連携機構 野木・松田
TEL: 086-251-7112



本催しは岡山県生涯学習大学連携講座として登録されております

社会人及び学生・生徒でサイエンスに興味のある方ならどなたでも